

沖ノ鳥島周辺における研究調査の実施について

このたび、東京都は、学校法人東海大学と、「沖ノ鳥島及び沖ノ鳥島周辺海域における研究調査実施に係る協定」を締結し、研究調査を実施することにいたしましたので、お知らせします。

記

1 研究調査実施の目的

日本最南端に位置する小笠原諸島の沖ノ鳥島は、我が国の広大な排他的経済水域の根拠となる重要な国境離島です。現地の最新の状況を把握し、国境離島及び周辺海域の維持・保全や利活用に繋がる手掛かりを得るため、海洋分野での研究・調査に十分なノウハウや実績を有する東海大学の協力を得て、沖ノ鳥島周辺における基礎的な調査を実施することとしました。

2 協定締結日

令和3年11月5日（金）（協定期間は協定締結日から令和4年3月31日（木）まで）

3 協定に基づく実施予定事項等

（1）実施予定事項

東海大学の海洋調査研修船「望星丸」を活用して現地に赴き、様々な海洋分野の研究者による基礎的な調査を行います。

（2）調査予定日

令和3年12月2日（木）から同月10日（金）まで

※航行に要する日数も含まれます。気象・海象等の状況により中止する場合があります。

（3）調査概要

ア 外観調査 現況確認など

イ 海洋調査 気象・海象調査、水質測定など

ウ 環境調査 生物相観測、マイクロプラスチック調査など

<問合せ先>

総務局行政部振興企画課小笠原・国境離島担当

電話：03 - 5388 - 2978